



や ま だ

うま  
午～2026～

教頭 野澤 諭史

明けまして、おめでとうございます。昨年は、当校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年は午年(うまどし)。「うま」と言ったら普通は「馬」と書くものですが、どうして「午」と書くのでしょうか。

正月に少し時間があつたので、ちょっと調べてみました。

「午」の字源は、「杵(きね)」に由来するそうです。「杵」という字からも分かりますとおり、古くから農耕や農作物の豊作を意味することがあり、とても縁起が良いそうなの。

また、「杵」が上下に動く様子を表す象形文字に由来しているのも、「交わる」「切り替わる」「真ん中」という意味もあるとのこと。十二支の7番目は真ん中です。「正午」(一日の真ん中、午前と午後が切り替わる)という言い方もここからきているとのこと(諸説あるそうですが…)。

このように、字だけで考えても良いイメージです。そして、もちろん「馬」ですから、「力強さ、前進、活力、豊作」などの象徴として、昔から「午年は何事もうまくいく、縁起の良い年」とされたそうです。

馬自体を「願いを運ぶ使者」と見立てる国や地方もあるそうで、なるほど、広い野を駆け巡る姿から「活力」「挑戦」「行動力」へとイメージも広がってきます。ここまで調べて、「そうだ!」と膝を打ちました。

「活発・活力」と言えば、山田小の子どもたちです。そして、「挑戦すること」「正しい判断のもとで行動すること」は、そのまま山田小の子どもたちに身に付けてほしい力です。

学びの道には、農耕と同じように近道はありません。一日一日を大切に、自分で考え、仲間と協力し、努力し続けることが、豊かな学びをもたらします。

縁起のよい午年のスタートにあたり、山田小学校の「真ん中」である子どもたちには、いつか自分の夢や目標に向かって駆け巡るような人になってほしいと願いました。

これから始まる後期後半の三か月も、活力あふれる子どもたちが、豊かに学ぶことができるよう、職員一同、保護者の皆様と共に支援していきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。